

こうべ市民連合議員団 NEWS

市民福祉の向上と共に、豊かさが実感でき、市民が愛着を持ち、誇れる神戸のまちづくりを

編集・発行/こうべ市民連合議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

4月1日より会派名を「民進こうべ政策議員団」から「こうべ市民連合議員団」に変更しました！

平成30年第1回定例会市会2月議会(2月20日～3月29日)が開会され、平成30年度当初予算・関連議案について、川内議員・人見議員が市長・副市長に対して代表質疑を、各局に対する質疑を行う予算特別委員会を経て、岩田議員が総括質疑を、大井議員が一般質問を行いました。

代 表 質 疑

川内きよなお 議員 (垂水区)

1. 障がい者の親亡き後対策について

Q 障がいをもつこどもの親御さんは、自分たちがいなくなった後、こどもがどうなるのか、これが一番気になるという方が多いのも事実である。

そこで親なき後対策を考えていく中で、重要になってくるのが成年後見制度の充実である。しかし、ほとんどの方が制度自体をよく知らない人が多い。今後は、障害を持った方や家族の方への周知を図っていくべきと考えるがどうか？



A 既存の在宅障がい者福祉センターなどの機能拡充及び転用により、順次全区に「障がい者支援センター」を設置していく。また、専門団体と連携し相談できる環境も整える。併せて、制度についての周知も図っていききたい。

2. 神戸市独自の教育のあり方と多忙化対策について

Q 兵庫県から神戸市に権限移譲されてから、もうすぐ1年になるが、この間、どのような改善がなされてきたか？

A 具体的には、今年度から小学校において教頭業務を補佐し、教職員の相談対応や、学力向上に向けた取り組みを総括する「総務・学習指導担当」を新たに配置し、トータルとして学校の組織強化を図っている。

Q 市に移譲されてから、育児や介護を理由に退職した教師が再採用される制度が適用されなくなったと聞いているが、教員不足の実情から見ても、神戸市でも早い段階で適用すべきと考えるがどうか？

A 教職経験を擁する離職者の再活用は、教育の充実にとって有用であり、離職者再採用制度を積極的に検討してまいりたい。

人 見 誠 議員 (北区)

1. イノベーション・エコシステムの構築について

Q 起業家が生まれ育ち、それが次世代の起業家を育てるという循環が起こる「起業家のエコシステム」を構築することにより起業家育成できるよう取り組んでいるが、現状の課題、今後の支援や連携は？



A 日本全体としてベンチャーキャピタルや投資家などのサポート体制、既存企業や大学・研究機関と起業家とのマッチングが弱いという課題がある。来年度から兵庫県とも連携し、起業家の定着・集積やコミュニティ形成拠点の整備に取り組み、起業家同士のコミュニティのつながりを地元を広げていく。

Q 起業した会社への支援として、行政課題を提示してIT技術で解決する「アーバンイノベーション神戸」のさらなる活用はできないか？

A 「アーバンイノベーション神戸」は新たなサービスを創出するとともに、起業家育成手法としても効果的。国内では初めての取組みで、本当に使われるサービスを開発する成功事例として起業家の育成につながるよう軌道に乗せていきたい。

2. コンベンションセンターの再整備について

Q コンベンションセンター再整備の検討状況やスケジュールは？

A 施設の整備には多額の投資を要し、また大型学会の開催は開催日から数年前に決定するものが多いため、再整備のタイミングを慎重に計る必要がある。主催者のニーズや参加者の利便性に応えられる施設のあり方、民間資本の活用手法、最適な施設運営体制などを最新の情報を掴んで検討しながら、タイミングを計っていく。